

家庭科

3 学年 評価計画

観点については①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 とする

指導題材	観点	単元の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
幼児の生活と家族	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達の特徴や、幼児にとつての遊びやおもちゃの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について解決策を構想している。 ・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体と心の発達とその特徴、遊びの意義や安心安全なおもちゃに関わる基準や法令について理解している。 ・幼児の成長を支える立場として、関わり方について課題をもって考えることができる。 ・よりよい生活のために、幼児と主体的に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト
幼児の生活を豊かにするものの製作	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な用具と安全な取り扱いについて知り、基礎的・基本的な縫い方ができる。 ・製作計画を見直し、よりよいものにするための修正や工夫を加えることができる。 ・製作に関心をもち、これからの製作に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児のおもちゃ「ハンドパペット」製作において、並縫い、半返し縫いができる。 ・幼児の興味関心をひくしかけや飾り付けを工夫することができる。 ・主体的に取り組み、より良い製作を実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・作品 ・実技テスト
消費生活と環境	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の仕組みを理解できる。 ・消費行動における注意点について、自分のこととして心構えを考え、生活に活かそうとしている。 ・よりよい消費生活に向けて、課題を持って取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資やサービスの特徴、計画的な金銭管理の必要性、販売形態、支払い方法や消費者被害の現状と背景について理解している。 ・商品の情報収集や検討することの必要性をふまえ、それらを活用し選択することができる。 ・消費者の課題を考え理解し、解決方法を考えることができる。 ・消費者を支える仕組みについて、エシカル消費の視点をもちつつ、課題解決に向けて取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト

<p>幼児との関わり</p>	<p>① ② ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児に応じたかかわり方について理解している。 ・ 幼児に応じた接し方や話し方、遊び方を考え工夫している。 ・ 幼児とのより良いかかわり方を考え、主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の発達や生活の特徴に応じた関わり方について理解している。 ・ 幼児の発達や状況に応じて接し方や話し方、遊び方などを考え、工夫しながら交流をしている。 ・ 交流後も、幼児とのより良いかかわり方を考え、主体的に改善工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト
<p>家庭生活と地域のかかわり</p>	<p>① ② ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々と協働する必要性があることや、かかわり方について理解している。 ・ 地域の人々とかかわり、協働する方法について問題を見出している。 ・ よりよい生活の実現に向けて、地域の生活について主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者など、地域の人々と協働する必要性があることや、介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・ 地域の人々とのかかわり方を振り返り、協働する方法について考え問題を見出している。 ・ 地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向け、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト